

## 使用方法

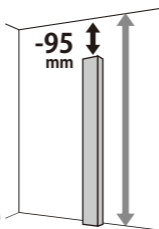
01

取り付ける場所の天井の強度を確認し、天井の高さを測ります。

天井の高さから95mm短い2×4材(\*)を用意します。

\*市販の2×4材 (38×89mm)

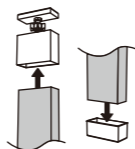
\*取り付け寸法: 高さ2750mmまで



02

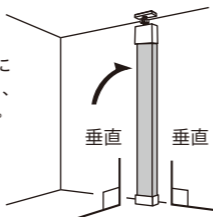
本製品を、2×4材の両端に差し込みます。

注: 上キャップは逆さまにすると、部品がバラバラになります。



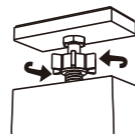
03

取り付ける場所に2×4材を立てて、垂直を確認します。



04

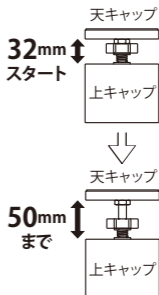
調節ねじを上から見て時計回りに回し、天井を破損させないように、注意しながら圧着固定させてください。



注: 天井や床材の構造・強度等によっては、天井や床材が変形し、緩む可能性がありますので、取り付け2~3日後、その後も週に1回程度定期的に調節ねじを確認してください。ゆるい場合は調節ねじを上から見て時計回りに回し、天井又は床に圧着固定させてください。

## ⚠ 使用上の注意事項

○上キャップと天キャップのすき間を最小(32mm)にしてから、突っ張ってください。○上キャップと天キャップのすき間が50mmをこえる場合は、天井の高さと木材の長さを再度確認し、木材の長さを調整してください。



○この商品は屋内用です。○直射日光の当たる所、高温となる所、浴室のような湿度の高い所では使用しないでください。○万一に備え、危険物、貴重品、破損の恐れのある物は載せないでください。○よじ登ったり、ぶら下がったりしないでください。○消臭剤、芳香剤、化粧品、整髪料、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、油脂、有機溶剤(ベンジン、シンナー等)の付着は変質劣化の原因になります。直ちに除去してください。○製品には塗装をしないでください。○この商品は縦突っ張り専用です。横向ぎには使用しないでください。○破損やひび割れなどの異常が発生した場合は、直ちに使用をおやめください。○天災などの不可抗力、経年劣化、改造、誤った使用方法による故障、破損、事故などに対する補償等はいたしかねます。○日本国外に持ち出された商品は、補償の対象外となります。

### 使用荷重

柱に対し片側に荷重がかかる場合は20kgまでとしてください。倒れる恐れがあります。(棚板を使用する場合は棚板の重さも含まれます。) 使用荷重は実験値です。設置場所や、使用木材によって条件が変わる為、保証するものではありません。転倒する事もありますので、自転車、テレビ、貴重品は掛けないでください。

\*品質向上のため予告なく仕様及び外観を変更することがありますので予めご了承ください。\*製品につきましては万全を期しておりますが、万一不良品などがございましたらお手数ですが右記連絡先までご連絡いただきますようお願い申し上げます。\*印刷の都合上、色調は実物と異なる場合もございます。



平安伸銅工業株式会社  
TEL 06-6228-8986  
9:30-17:00 (土・日・祝日は除く)  
www.heianshindo.co.jp

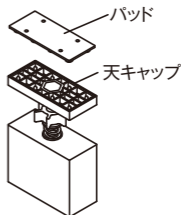
本製品は、天井側のパッドをホッチキス(天井が石膏ボードの場合)又は、木ねじ(天井がベニヤ板の場合)を使用して固定するとより安定して取り付けができます。

※木ねじで固定する場合、取り外した後にねじ穴が残ります。支障のない所でお使いください。

1.パッドを天キャップから外します。

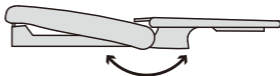
2.外したパッドを設置する場所の天井の材質に合った方法で固定します。  
※2×4アジャスターを使用した木材を複数連結させる場合は、一旦仮に設置してパッドの位置をマーキングしてください。

3.天井に固定したパッドに天キャップをはめるように設置します。

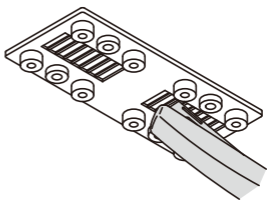


### <石膏ボードに取り付ける場合>

本体が180°以上開くタイプของホッチキスをご用意ください。  
(180°開放しないタイプやコンパクトタイプのホッチキスは使用不可)  
※付属の針が不足した場合は市販の10号サイズの針が使用できます。(ステンレス製推奨)

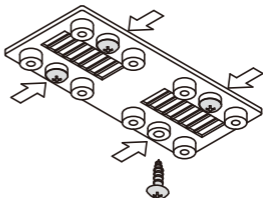


ホッチキス本体を180°開き、パッドをしっかりと天井に押さえながら16カ所全ての凹部分に1本ずつホッチキスの針を打ち込みます。垂直に刺さるようにホッチキスを寝かせて、根元までしっかりと打ち込んでください。



### <ベニヤ板に固定する場合>

プラスドライバー(2番サイズ)をご用意ください。



パッドを天井に押さえつけながら、付属のねじを使って固定します。(4本)  
※強く締めすぎると天井の穴が大きくなり空回りします。ねじの頭部分が浮かない程度まで締めてください。

